

砺介組監第7号

令和3年7月21日

砺波地方介護保険組合

理事長 夏野 修 様

砺波地方介護保険組合

監査委員 川原 国昭

監査委員 竹田 秀人

令和2年度一般会計・特別会計決算審査意見書の提出について

地方自治法第233条第2項及び同法第241条第5項の規定により審査に付された令和2年度砺波地方介護保険組一般会計、特別会計歳入歳出決算並びに基金運用状況を審査した結果、次のとおり意見書を提出します。

令和 2 年度

砺波地方介護保険組合

- ・一般会計
- ・介護保険事業特別会計
- ・養護老人ホーム楽寿荘事業特別会計

歳入歳出決算及び基金運用状況審査意見書

砺波地方介護保険組合監査委員

目 次

I	審査の対象	1
II	審査の期日	1
III	審査の方法	1
IV	審査の結果及び意見	1
V	決算の概要	3
VI	一般会計	4
VII	介護保険事業特別会計	6
VIII	養護老人ホーム楽寿荘事業特別会計	13
IX	基金の運用状況	17

令和 2 年度砺波地方介護保険組合各会計 歳入歳出決算及び基金運用状況審査意見書

I 監査の種類

地方自治法第 233 条第 2 項及び第 241 条第 5 項の規定による審査

II 審査の対象

令和 2 年度砺波地方介護保険組合一般会計歳入歳出決算

令和 2 年度砺波地方介護保険組合介護保険事業特別会計歳入歳出決算

令和 2 年度砺波地方介護保険組合養護老人ホーム楽寿荘事業特別会計歳入歳出決算

令和 2 年度砺波地方介護保険組合介護給付費準備基金運用状況

令和 2 年度砺波地方介護保険組合養護老人ホーム楽寿荘財政調整基金運用状況

III 審査の実施場所及び日程

砺波市高齢者能力活用センター 1 階にて、令和 3 年 7 月 21 日（水）に実施した。

IV 審査の着眼点及び実施内容

決算審査は、令和 3 年 7 月 2 日付けで理事長から審査に付された各会計の歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書及び基金の運用状況に関する調書が地方自治法等関係法令に準拠して作成されているか、計数が正確であるか、予算の執行が適正かつ効率的になされているか等に主眼を置き、砺波地方介護保険組合監査基準に準拠し、それぞれの関係諸帳簿及び証拠書類との照合並びに関係者からの説明聴取などを実施した。

V 審査の結果及び意見

審査に付された各会計歳入歳出決算書及び付属調書並びに基金運用状況に関する調書は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、かつ各決算計数は関係諸帳簿と符合して正確であることを認めた。

また、予算執行及び事務処理全般についても適正に処理されていることを認めた。

はじめに、一般会計及び介護保険事業特別会計については、制度創設以来 21 年が経過し、令和 2 年度は第 7 期介護保険事業計画（計画年度：平成 30～令和 2 年度）の最終年次として介護予防事業や地域密着型サービスの推進等地域ケア体制の充実を図るとともに、介護サービス事業の量と質の確保・向上に対し、構成市と連携しながら事業展開に取り組んでいる。

まず、一般会計について、令和 2 年度決算では、実質収支は 589 万円の黒字となり、前年度繰越額を差し引いた単年度収支も 291 万 9 千円の黒字となった。

次に、介護保険事業特別会計について、令和 2 年度決算では、第 1 号被保険者は増加したものの、低所得者層の保険料軽減の拡大強化により保険料収入は減少した。一方、サービス

を受給する者の増加、介護療養型医療施設から介護医療院への転換による療養床の増等により、介護給付費が増大したこと等により、実質収支は1億9,417万円の黒字となったが、単年度収支は3,752万7千円の赤字となった。

今後も、高齢化の進展に伴い保険給付費の増大が予想されるため、高齢社会の安心を支える制度として、構成3市とも連携を取りながら安定した運営に努められたい。

保険料については、第1号被保険者は増加したものの、低所得者層の保険料軽減の拡大強化により、令和2年度の保険料収入済額は33億1,743万6千円で前年度対比99.4%、2,121万1千円の減となっている。収納率は99.1%となり、実収入未済額は2,104万8千円で前年度対比91.3%、200万4千円の減、不納欠損額は835万7千円で前年度対比80.2%、206万円の減となっている。

負担公平の原則からも、「時効」を意識した計画的な臨戸徴収・電話催告の実施、65歳到達時における口座振替による納付の推進など、収納率の向上に一層努められたい。

次に、養護老人ホーム楽寿荘の入所状況については、年間措置定員600名に対し措置実員569名で利用率95%であり前年度と比較して10名の増となり、措置費収入は、前年度に対し、597万1千円の増収となった。

受託事業については、年間利用者が196日となり、前年度対比114日の増となり、前年度に対し59万3千円の増となった。

養護老人ホーム楽寿荘は措置入所の老人福祉施設であり、入所者の確保は施設の努力とともに構成市の判断に大きく影響されることから、引き続き構成市と連携を密にしていくことが必要である。

介護給付費準備基金及び養護老人ホーム楽寿荘財政調整基金については、諸帳簿等関係書類と符合しており正確であった。

今後とも、健全財政を維持し効率的な運用に努め、高齢者が地域の中で安心・安全に生活していけるよう事業の充実を望むものである。

なお、決算の概要等は次のとおりである。

V 決算の概要

(1) 決算規模

令和2年度の一般会計と2特別会計を合わせた予算現額は、159億8,236万円であり、これに対する決算額は、

歳入 15,714,901,929円 (予算額に対する割合 98.3% (前年度 98.8%))
 歳出 15,510,045,790円 (予算額に対する割合 97.0% (前年度 97.3%))
 差引額 204,856,139円 の黒字となっている。

歳入歳出決算額について、前年度と比較すると、歳入で 2億4,353万5千円 (1.6%) 増加し、歳出で 2億7,568万2千円 (1.8%) 増加している。

<各会計別歳入歳出決算一覧表>

(単位：千円)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	形式収支
一 般 会 計	147,000	147,998	142,108	5,890
介 護 保 険 事 業 特 別 会 計	15,696,427	15,436,217	15,242,047	194,170
養護老人ホーム楽寿荘事業特別会計	138,933	130,687	125,891	4,796
合 計	15,982,360	15,714,902	15,510,046	204,856

(2) 決算収支状況

本年度の一般会計と2特別会計を合わせた歳入総額から歳出総額を差引いた形式収支は、2億485万6千円の黒字となっている。また、単年度収支は、3,214万7千円の赤字となっている。

会計別にみると、一般会計は形式収支が 589万円の黒字となり、単年度収支も、291万9千円の黒字となっている。

次に、介護保険事業特別会計は形式収支が 1億9,417万円の黒字となり、単年度収支は 3,752万7千円の赤字となっている。

また、養護老人ホーム楽寿荘事業特別会計は、形式収支が 479万6千円の黒字となり、単年度収支は、246万1千円の黒字となっている。

<会計別決算収支状況>

(単位：千円)

区 分	歳入決算額 A	歳出決算額 B	差引額 (形式収支) C	翌年度に 繰越すべ き財源 D	実質収支 E (C-D)	前年度 繰越額 F	単年度収支 G (E-F)
一般会計	147,998	142,108	5,890	0	5,890	2,971	2,919
介護保険事業 特別会計	15,436,217	15,242,047	194,170	0	194,170	231,697	△ 37,527
養護老人ホーム楽 寿荘事業特別会計	130,687	125,891	4,796	0	4,796	2,335	2,461
合 計	15,714,902	15,510,046	204,856	0	204,856	237,003	△ 32,147

VI 一般会計

(1) 歳入

第1款 分担金及び負担金

(単位：千円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額に 対する増減	収入割合	
							対予算	対調定
2	145,000	145,000	145,000	0	0	0	100.0	100.0
元	135,000	135,000	135,000	0	0	0	100.0	100.0
比較増減	10,000	10,000	10,000	0	0	0		
対前年度比 (2/元)	107.4	107.4	107.4	—	—	—		

分担金及び負担金の収入済額は 1億4,500万円で、前年度に比べ 1,000万円増加している。

第2款 繰越金

(単位：千円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額に 対する増減	収入割合	
							対予算	対調定
2	1,990	2,971	2,971	0	0	981	149.3	100.0
元	12,066	12,066	12,066	0	0	0	100.0	100.0
比較増減	△ 10,076	△ 9,095	△ 9,095	0	0	981		
対前年度比 (2/元)	16.5	24.6	24.6	—	—	—		

繰越金の収入済額は 297万1千円で、前年度に比べ 909万5千円減少している。

第3款 諸収入

(単位：千円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額に 対する増減	収入割合	
							対予算	対調定
2	10	27	27	0	0	17	270.0	100.0
元	50	24	24	0	0	△ 26	48.0	100.0
比較増減	△ 40	3	3	0	0	43		
対前年度比 (2/元)	20.0	112.5	112.5	—	—	—		

諸収入の収入済額は 2万7千円で、前年度に比べ 3千円増加している。

(2) 歳 出

第1款 議会費

(単位：千円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費通次繰越	繰越明許費	事故繰越		
2	621	430	0	0	0	191	69.2
元	575	399	0	0	0	176	69.4
比較増減	46	31					
対前年度比 (2/元)	108.0	107.8					

議会費の支出済額は 43万円で、前年度に比べ 3万1千円増加している。

第2款 総務費

(単位：千円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費通次繰越	繰越明許費	事故繰越		
2	146,369	141,678	0	0	0	4,691	96.8
元	146,531	143,720	0	0	0	2,811	98.1
比較増減	△ 162	△ 2,042					
対前年度比 (2/元)	99.9	98.6					

総務費の支出済額は 1億4,167万8千円で、前年度に比べ 204万2千円減少している。

支出済額の内訳は、次のとおりである。

総務管理費 141,626,027円 (前年度に比べ 2,041,441円 (1.4%) の減)

監査委員費 51,869円 (前年度に比べ 1,092円 (2.1%) の減)

第3款 予備費

(単位：千円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費通次繰越	繰越明許費	事故繰越		
2	10	0	0	0	0	10	0.0
元	10	0	0	0	0	10	0.0
比較増減	0	0					
対前年度比 (2/元)	100.0	—					

予備費の充用はなかった。

Ⅶ 介護保険事業特別会計

(1) 歳入

第1款 保険料

(単位：千円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算額に対する増減	収入割合	
							対予算	対調定
2	3,273,897	3,345,031	3,317,436	8,357	19,238	43,539	101.3	99.2
元	3,342,756	3,371,255	3,338,647	10,417	22,191	△4,109	99.9	99.0
比較増減	△68,859	△26,224	△21,211	△2,060	△2,953			
対前年度比(2/元)	97.9	99.2	99.4	80.2	86.7			

収入済額は33億1,743万6千円で、前年度に比べ2,121万1千円減少している。これは、低所得者層の保険料軽減拡大強化によるものである。

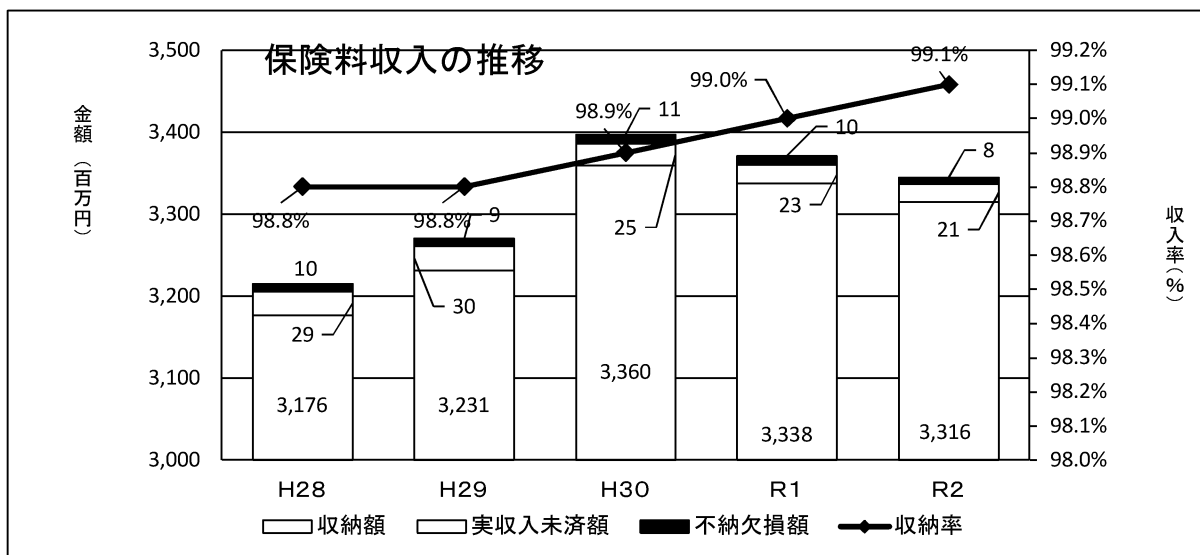
収入未済額は1,923万8千円で、前年度に比べ295万3千円減少し、また、不納欠損額は835万7千円で、206万円減少している。(収入済額には、過誤納還付未済額(特別徴収1,685,600円、普通徴収123,900円)が含まれている。)

保険料の収納状況及び前年度比較は、下記のとおりである。

<保険料収納状況及び前年度比較>

(単位：千円、%)

年度	区分	調定額	収納額	還付未済額	不納欠損額	実収入未済額	収納率
2	現年度分	特別徴収	3,140,171	3,140,171	1,686	0	100.0
		普通徴収	181,831	171,457	124	0	94.3
		小計	3,322,002	3,311,628	1,810	0	99.7
	滞納繰越分	23,029	3,998	0	8,357	10,674	17.4
	計	3,345,031	3,315,626	1,810	8,357	21,048	99.1
元	現年度分	特別徴収	3,171,695	3,171,695	827	0	100.0
		普通徴収	174,130	161,858	34	0	93.0
		小計	3,345,825	3,333,553	861	0	12,272
	滞納繰越分	25,430	4,233	0	10,417	10,780	16.6
	計	3,371,255	3,337,786	861	10,417	23,052	99.0
対前年度比(2/元)		99.2	99.3	210.2	80.2	91.3	



第2款 分担金及び負担金

(単位：千円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算額に対する増減	収入割合	
							対予算	対調定
2	2,152,150	2,110,946	2,110,946	0	0	△ 41,204	98.1	100.0
元	2,057,188	2,001,791	2,001,791	0	0	△ 55,397	97.3	100.0
比較増減	94,962	109,155	109,155	0	0			
対前年度比(2/元)	104.6	105.5	105.5	—	—			

分担金及び負担金の収入済額は 21億1,094万6千円で、前年度に比べ 1億915万5千円増加している。

これは、介護給付費負担金が 6,587万5千円、地域支援事業負担金が 135万3千円、低所得者保険料軽減負担金が 4,192万7千円がそれぞれ増加したことによる。

収入済額の内訳は、次のとおりである。

- ・総務費分担金 120,000,000円 (前年度と同額)
- ・介護給付費負担金 1,804,940,701円 (前年度に比べ 65,875,297円 (3.8%) の増)
- ・地域支援事業負担金 92,774,794円 (前年度に比べ 1,352,794円 (1.5%) の増)
- ・低所得者保険料軽減負担金 93,230,800円 (前年度に比べ 41,927,500円 (81.7%) の増)

第3款 使用料及び手数料

(単位：千円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算額に対する増減	収入割合	
							対予算	対調定
2	10	9	9	0	0	△ 1	90.0	100.0
元	10	5	5	0	0	△ 5	50.0	100.0
比較増減	0	4	4	0	0			
対前年度比(2/元)	100.0	180.0	180.0	—	—			

使用料及び手数料の収入済額は 9千円で、前年度に比べ 4千円増加している。

第4款 国庫支出金

(単位：千円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算額に対する増減	収入割合	
							対予算	対調定
2	3,666,400	3,550,637	3,550,637	0	0	△ 115,763	96.8	100.0
元	3,505,169	3,443,508	3,443,508	0	0	△ 61,661	98.2	100.0
比較増減	161,231	107,129	107,129	0	0			
対前年度比(2/元)	104.6	103.1	103.1	—	—			

国庫支出金の収入済額は 35億5,063万7千円で、前年度に比べ 1億712万9千円増加している。

これは、調整交付金が1,215万7千円の減となったが、介護給付費負担金が 7,302万7千円、地域支援事業交付金が 201万円、介護保険事業費補助金が 221万4千円、介護保険災害等臨時特例補助金が 287万8千円、保険者機能強化推進交付金が694万円、介護保険保険者努力支援交付金3,221万7千円がそれぞれ増加したことによる。

収入済額の内訳は、次のとおりである。

- ・介護給付費負担金 2,647,085,450円 (前年度に比べ 73,027,450円 (2.8%) の増)
- ・調整交付金 648,450,000円 (前年度に比べ 12,157,000円 (1.8%) の減)
- ・地域支援事業交付金 184,534,389円 (前年度に比べ 2,009,652円 (1.1%) の増)

・介護保険事業費補助金	5,188,000円	(前年度に比べ 2,214,000円 (74.4%) の増)
・介護保険災害等臨時特例補助金	2,878,000円	(前年度に比べ皆増)
・保険者機能強化推進交付金	30,284,000円	(前年度に比べ 6,940,000円 (29.7%) の増)
・介護保険保険者努力支援交付金	32,217,000円	(前年度に比べ皆増)

第5款 支払基金交付金

(単位：千円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算額に対する増減	収入割合	
							対予算	対調定
2	4,075,662	3,968,902	3,968,902	0	0	△ 106,760	97.4	100.0
元	3,965,569	3,914,184	3,914,184	0	0	△ 51,385	98.7	100.0
比較増減	110,093	54,718	54,718	0	0			
対前年度比(2/元)	102.8	101.4	101.4	-	-			

支払基金交付金の収入済額は 39億6,890万2千円で、前年度に比べ 5,471万8千円増加している。

これは、介護給付費交付金が 8,410万9千円増加し、地域支援事業支援交付金が 2,939万1千円減少したことによる。

収入済額の内訳は、次のとおりである。

・介護給付費交付金	3,871,917,593円	(前年度に比べ 84,109,161円 (2.2%) の増)
・地域支援事業支援交付金	96,985,000円	(前年度に比べ 29,390,351円 (23.3%) の減)

第6款 県支出金

(単位：千円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算額に対する増減	収入割合	
							対予算	対調定
2	2,238,184	2,178,300	2,178,300	0	0	△ 59,884	97.3	100.0
元	2,177,478	2,135,931	2,135,931	0	0	△ 41,547	98.1	100.0
比較増減	60,706	42,369	42,369	0	0			
対前年度比(2/元)	102.8	102.0	102.0	-	-			

県支出金の収入済額は 21億7,830万円で、前年度に比べ 4,236万9千円増加している。

これは、介護給付費負担金 4,101万6千円、地域支援事業交付金 135万3千円それぞれ増加したことによる。

収入済額の内訳は、次のとおりである。

・介護給付費負担金	2,085,525,000円	(前年度に比べ 41,016,000円 (2.0%) の増)
・地域支援事業交付金	92,774,794円	(前年度に比べ 1,353,000円 (1.5%) の増)

第7款 財産収入

(単位：千円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算額に対する増減	収入割合	
							対予算	対調定
2	50	11	11	0	0	△ 39	22.0	100.0
元	110	18	18	0	0	△ 92	16.4	100.0
比較増減	△ 60	△ 7	△ 7	0	0			
対前年度比(2/元)	45.5	61.1	61.1	-	-			

財産収入の収入済額は 1万1千円で、前年度に比べ 7千円減少している。

第8款 繰入金

(単位：千円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額に 対する増減	収入割合	
							対予算	対調定
2	73,039	71,824	71,824	0	0	△ 1,215	100.0	100.0
元	63,297	63,297	63,297	0	0	0	—	—
比較増減	9,742	8,527	8,527	0	0			
対前年度比 (2/元)	115.4	113.5	113.5	—	—			

介護給付費準備基金から 7,182万4千円を繰入れ、前年度に比べ852万7千円の増となっている。

第9款 繰越金

(単位：千円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額に 対する増減	収入割合	
							対予算	対調定
2	215,185	231,697	231,697	0	0	16,512	107.7	100.0
元	261,025	286,335	286,335	0	0	25,310	109.7	100.0
比較増減	△ 45,840	△ 54,638	△ 54,638	0	0			
対前年度比 (2/元)	82.4	80.9	80.9	—	—			

繰越金の収入済額は 2億3,169万7千円で、前年度に比べ 5,463万8千円減少している。

第10款 諸収入

(単位：千円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額に 対する増減	収入割合	
							対予算	対調定
2	1,850	6,455	6,455	0	0	4,605	348.9	100.0
元	322	12,178	12,178	0	0	11,856	3,782.0	100.0
比較増減	1,528	△ 5,723	△ 5,723	0	0			
対前年度比 (2/元)	574.5	53.0	53.0	—	—			

諸収入の収入済額は 645万5千円で、前年度に比べ 572万3千円減少している。

これは、介護認定受託事業収入が 8千円の増となったが、第1号被保険者延滞金が 7万3千円、第三者納付金が348万8千円、雑入が217万円がそれぞれ減少したことによる。

収入済額の内訳は、次のとおりである。

- ・第1号被保険者延滞金 98,300円 (前年度に比べ 72,600円 (42.5%) の減)
- ・介護認定受託事業収入 7,750円 (前年度に比べ皆増)
- ・第三者納付金 3,046,579円 (前年度に比べ 3,488,239円 (53.4%) の減)
- ・雑入 3,301,972円 (前年度に比べ 2,169,755円 (39.7%) の減)

(2) 歳出

第1款 総務費

(単位：千円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費 繰越	繰越明許費	事故繰越		
2	157,405	146,658	0	0	0	10,747	93.2
元	143,383	121,557	0	0	0	21,826	84.8
比較増減	14,022	25,101					
対前年度比(2/元)	109.8	120.6					

総務費の支出済額は1億4,665万8千円で、前年度に比べ2,510万1千円増加している。

これは、徴収費が15万6千円減少したものの、総務管理費が546万7千円、介護認定費が1,368万円、趣旨普及費が1千円、計画策定費が610万9千円それぞれ増加したことによる。

支出済額の内訳は、次のとおりである。

・総務管理費	23,886,252円	(前年度に比べ	5,467,240円(29.7%)の増)
・徴収費	5,833,763円	(前年度に比べ	156,498円(2.6%)の減)
・介護認定費	109,251,708円	(前年度に比べ	13,679,736円(14.3%)の増)
・趣旨普及費	1,454,200円	(前年度に比べ	610円(0.1%)の増)
・計画策定費	6,231,713円	(前年度に比べ	6,109,178円(4,985.7%)の増)

第2款 保険給付費

(単位：千円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費 繰越	繰越明許費	事故繰越		
2	14,730,174	14,335,443	0	0	0	394,731	97.3
元	14,328,286	13,968,245	0	0	0	360,041	97.5
比較増減	401,888	367,198					
対前年度比(2/元)	102.8	102.6					

保険給付費の支出済額は143億3,544万3千円で、前年度に比べ3億6,719万8千円増加している。

これは、介護・予防サービス等諸費3億4,301万4千円、高額介護サービス等費が2,566万6千円、高額医療合算介護サービス等費が92万2千円それぞれ増加し、特定入所者介護サービス費239万2千円、その他諸費1万2千円減少したことによる。

支出済額の内訳は、次のとおりである。

・介護・予防サービス等諸費	13,696,164,407円	(前年度に比べ	343,013,855円(2.6%)の増)
・高額介護サービス等費	249,131,931円	(前年度に比べ	25,666,156円(11.5%)の増)
・高額医療合算介護サービス等費	29,727,796円	(前年度に比べ	922,719円(3.2%)の増)
・特定入所者介護サービス等費	346,977,957円	(前年度に比べ	2,392,039円(0.7%)の減)
・その他諸費	13,440,980円	(前年度に比べ	12,040円(0.1%)の減)

第3款 地域支援事業費

(単位：千円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費 遞次繰越	繰越明許費	事故繰越		
2	636,850	596,972	0	0	0	39,878	93.7
元	618,595	598,889	0	0	0	19,706	96.8
比較増減	18,255	△ 1,917					
対前年度比(2/元)	103.0	99.7					

地域支援事業費の支出済額は5億9,697万2千円で、前年度に比べ191万7千円減少している。

第4款 保健福祉事業費

(単位：千円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費 遞次繰越	繰越明許費	事故繰越		
2	12,354	11,824	0	0	0	530	95.7
元	12,297	12,297	-	-	-	-	-
比較増減	57	△ 473					
対前年度比(2/元)	100.5	96.2					

保健福祉事業費の支出済額は1,182万4千円で、前年度に比べ47万3千円減少している。

第5款 基金積立金

(単位：千円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費 遞次繰越	繰越明許費	事故繰越		
2	64,069	64,031	0	0	0	38	99.9
元	135,006	134,914	0	0	0	92	99.9
比較増減	△ 70,937	△ 70,883					
対前年度比(2/元)	47.5	47.5					

基金積立金の支出済額は6,403万1千円で、前年度に比べ7,088万3千円減少している。

支出済額は、その全額を介護給付費準備基金へ積み立てた。

第6款 公債費

(単位：千円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費 遞次繰越	繰越明許費	事故繰越		
2	500	0	0	0	0	500	0.0
元	500	0	0	0	0	500	0.0
比較増減	0	0					
対前年度比(2/元)	100.0	-					

公債費の支出はなかった。

第7款 諸支出金

(単位：千円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費 通次繰越	繰越明許費	事故繰越		
2	90,075	87,119	0	0	0	2,956	96.7
元	129,867	128,295	0	0	0	1,572	98.8
比較増減	△ 39,792	△ 41,176					
対前年度比 (2/元)	69.4	67.9					

諸支出金の支出済額は 8,711万9千円で、前年度に比べ 4,117万6千円減少している。

これは、第1号被保険者保険料還付金が 55万9千円増加し、償還金が 4,173万5千円減少したことによる。

支出済額の内訳は、次のとおりである。

- ・第1号被保険者保険料還付金 1,996,000円 (前年度に比べ 559,000円 (38.9%) の増)
- ・償還金 85,123,040円 (前年度に比べ 41,735,281円 (32.9%) の減)

第8款 予備費

(単位：千円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費 通次繰越	繰越明許費	事故繰越		
2	5,000	0	0	0	0	5,000	0.0
元	5,000	0	0	0	0	5,000	0.0
比較増減	0	0					
対前年度比 (2/元)	100.0	—					

予備費について、充用はなかった。

VIII 養護老人ホーム楽寿荘事業特別会計

(1) 歳入

第1款 分担金及び負担金

(単位：千円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額に 対する増減	収入割合	
							対予算	対調定
2	125,970	119,737	119,737	0	0	△ 6,233	95.1	100.0
元	121,140	113,766	113,766	0	0	△ 7,374	93.9	100.0
比較増減	4,830	5,971	5,971	0	0			
対前年度比 (2/元)	104.0	105.2	105.2	-	-			

収入済額は1億1,973万7千円で、前年に比べ597万1千円増加した。

分担金及び負担金の収納状況及び前年度比較は、下記のとおりである。

措置費負担金 119,736,527円 (前年度に比べ 5,970,573円(5.2%)の増)

第2款 財産収入

(単位：千円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額に 対する増減	収入割合	
							対予算	対調定
2	5	1	1	0	0	△ 4	20.0	100.0
元	5	1	1	0	0	△ 4	20.0	100.0
比較増減	0	0	0	0	0			
対前年度比 (2/元)	100.0	100.0	100.0	-	-			

財産収入の収入済額は1千円で、前年度と同じ。

第3款 寄附金

(単位：千円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額に 対する増減	収入割合	
							対予算	対調定
2	10	140	140	0	0	130	1,400.0	100.0
元	10	99	99	0	0	89	990.0	100.0
比較増減	0	41	41	0	0			
対前年度比 (2/元)	100.0	141.4	141.4	-	-			

寄附金の収入済額は14万円で、前年度に比べ4万1千円増加している。

第4款 繰入金

(単位：千円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額に 対する増減	収入割合	
							対予算	対調定
2	9,034	5,000	5,000	0	0	△ 4,034	55.3	100.0
元	14,836	7,000	7,000	0	0	△ 7,836	47.2	100.0
比較増減	△ 5,802	△ 2,000	△ 2,000	0	0			
対前年度比 (2/元)	60.9	71.4	71.4	-	-			

財政調整基金から500万円を繰り入れている。

第5款 繰越金

(単位：千円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額に 対する増減	収入割合	
							対予算	対調定
2	1,000	2,335	2,335	0	0	1,335	233.5	100.0
元	1,000	6,413	6,413	0	0	5,413	641.3	100.0
比較増減	0	△ 4,078	△ 4,078	0	0			
対前年度比 (2/元)	100.0	36.4	36.4	-	-			

繰越金の収入済額は 233万5千円で、前年度に比べ 407万8千円減少している。

第6款 諸収入

(単位：千円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額に 対する増減	収入割合	
							対予算	対調定
2	981	1,568	1,568	0	0	587	159.8	100.0
元	1,009	1,103	1,103	0	0	94	109.3	100.0
比較増減	△ 28	465	465	0	0			
対前年度比 (2/元)	97.2	142.2	142.2	-	-			

諸収入の収入済額は 156万8千円で、前年度に比べ 46万5千円増加している。

収入済額の内訳は、次のとおりである。

受託事業収入 911,400円 (前年度に比べ 592,876円 (186.1%) の増)

雑入 656,708円 (前年度に比べ 128,254円 (16.3%) の減)

第7款 県支出金

(単位：千円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額に 対する増減	収入割合	
							対予算	対調定
2	1,933	1,906	1,906	0	0	△ 27	98.6	100.0
元	-	-	-	-	-	-	-	-
比較増減	1,933	1,906	1,906	0	0			
対前年度比 (2/元)	皆増	皆増	皆増	-	-			

県支出金の収入済額は 190万6千円で、前年度に比べ 皆増となっている。

(2) 歳出

第1款 総務費

(単位：千円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費 通次繰越	繰越明許費	事故繰越		
2	48	27	0	0	0	21	56.3
元	48	36	0	0	0	12	75.0
比較増減	0	△ 9					
対前年度比 (2/元)	100.0	75.0					

総務費の支出済額は 28千円で、前年度に比べ8千円減少している。

第2款 老人福祉費

(単位：千円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費 通次繰越	繰越明許費	事故繰越		
2	138,770	125,863	0	0	0	12,907	90.7
元	137,837	126,010	0	0	0	11,827	91.4
比較増減	933	△ 147					
対前年度比 (2/元)	100.7	99.9					

老人福祉費の支出済額は 1億2,586万3千円で、前年度に比べ 14万7千円減少している。

第3款 基金積立金

(単位：千円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費 通次繰越	繰越明許費	事故繰越		
2	5	1	0	0	0	4	20.0
元	5	1	0	0	0	4	20.0
比較増減	0	0					
対前年度比 (2/元)	100.0	100.0					

基金積立金の支出済額は 1千円で、前年度と同じ。

第4款 公債費

(単位：千円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費 通次繰越	繰越明許費	事故繰越		
2	10	0	0	0	0	10	0.0
元	10	0	0	0	0	10	0.0
比較増減	0	0					
対前年度比 (2/元)	100.0	-					

公債費の支出はなかった。

第5款 予備費

(単位：千円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費 通次繰越	繰越明許費	事故繰越		
2	100	0	0	0	0	100	0.0
元	100	0	0	0	0	100	0.0
比較増減	0	0					
対前年度比 (2/元)	100.0	-					

予備費の充用はなかった。

IX 介護給付費準備基金及び養護老人ホーム楽寿荘財政調整基金の運用状況

介護給付費準備基金

決算年度末現在高は 609,773,758円で、これは、期間中に 71,824,000円を取り崩し、また、64,019,440円を積み増し、基金運用益 11,225円を積み立てたことによる。

養護老人ホーム楽寿荘財政調整基金

決算年度末現在高 29,572,355円で、これは、期間中に 5,000,000円を取り崩し、基金運用益 920円を積み立てたことによる。

○ 基金の状況

(単位：円)

区 分	前年度末	決算年度中増減高		決算年度末
		積立額	取崩額	
介護給付費準備基金	617,567,093	64,030,665	71,824,000	609,773,758
養護老人ホーム 楽寿荘財政調整基金	34,571,435	920	5,000,000	29,572,355
基金合計	652,138,528	64,031,585	76,824,000	639,346,113